

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう97

シメ

分類 スズメ目 アトリ科

住んでいる環境

・林や公園

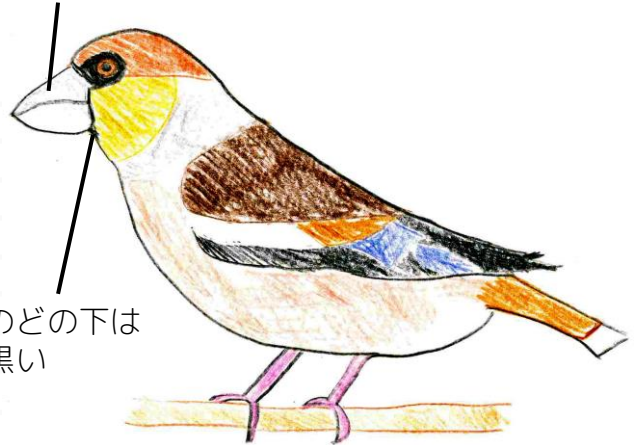
見られる時期

・冬（11月～3月）

小鳥の森で見られる場所

・ネイチャーセンター周辺
園内各地

大きなくちばし

のどの下は
黒いやまだ りん さん（11才）が
かいてくれました。

2月 いきもの森予報

春の気配

2月になると徐々に春の気配が感じられるようになります。昆虫はまだ身を隠して寒い冬をじっとたえています。植物は春にむけて準備を進めています。

水辺では**フキノトウ**が顔を出しているのが見られるようになるでしょう。例年、よく見られるようになるのは2月ですが、実は1月中にすでに地面の



カタクリ花芽



フキノトウ

下から出始めています。しかし、12月～2月は雪が積もるため、**フキノトウは雪の下**。雪がとけ始まる2月になると、その顔が見えるようになるのです。この冬は雪が少なく、いつもより早い1月4日が初確認になりました。

また、毎年春になると私たちを楽しませてくれる**カタクリ**も2月下旬になると**葉**が出始めます。あたたかい年だと**花芽（はなめ）**が確認できることもあります（昨年の初確認：2月26日）。

雪が少ない分、春の訪れが早い2月になるかもしれませんね。

ひっそりと

虫探しというと夏のイメージですが、冬の虫探しもおもしろいものです。

冬には**木の皮のすきま**や**木の中**、**落ち葉の下**、**土の中**など、虫たちはいろいろなところでひっそりと過ごしています。

木のくぼみでは**ヨコヅナサンガメの幼虫**の集団を発見。みんなで集まってあたたかそうでした。また、落ち葉の下では**ゴマダラチョウ**の幼虫も見つけました。あと数ヶ月、春までもう少しのしんぼうですね。



久しぶりに

夏にザリガニ釣りでにぎわう**ザリガニ池**。冬には池が凍り、生き物の気配もなくなります。

しかし、今年の冬は池がこおらない日もありました。そんな日には、めずらしいお客さんがやってきました。“翡翠（ひすい）”や“青い宝石”ともよばれる**カワセミ**です。カワセミは水辺のハンター。夏には、水の中の魚などをつかまえによくやってきます。あたたかかったこの冬、エサをねらうきれいな姿を**久しぶり**に見ることができました。



スタッフだより

鳥の漢字

漢字で書く鳥の名前には、その野鳥の特徴をよく表現しているものから、なぜそう読むの？と思ってしまうものまで様々あります。不思議に思った漢字の意味を調べてみると、その野鳥についての新しい発見があるかもしれませんね。

初級→1.雉 2.雀 3.四十雀 4.柄長 5.頬白

中級→1.翡翠 2.黄鶺鴒 3.子啄木鳥 4.郭公
5.鶇

上級→1.鶇 2.木葉木菟 3.蒼鷹 4.怪鴟

答え（反対にして読んでね）

上級：1.ホオノカササギ 2.ハシロ 3.オオカバネ

中級：1.カワセミ 2.キキキ 3.コウノチ 4.カマキリ 5.ヨロイ

初級：1.キジ 2.スズメ 3.シロコ 4.エナガ 5.ホオジロ

レンジャー ながと まゆみ

出前講座のご案内

小鳥の森では、市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

森の話や自然素材（放射線量の低い地域や県外からの寄付でいただいたもの）を用いた工作など色々な講座内容を用意しております。季節や人数、活動時間に合わせたプログラムの作成、組み合わせも可能です。

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXにてお申し込み下さい（※希望日に予約が入っていた場合、対応できないこともございますので、ご了承ください）。



出前講座の様子

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2020年2月号№408 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / 日本野鳥の会ふくしま